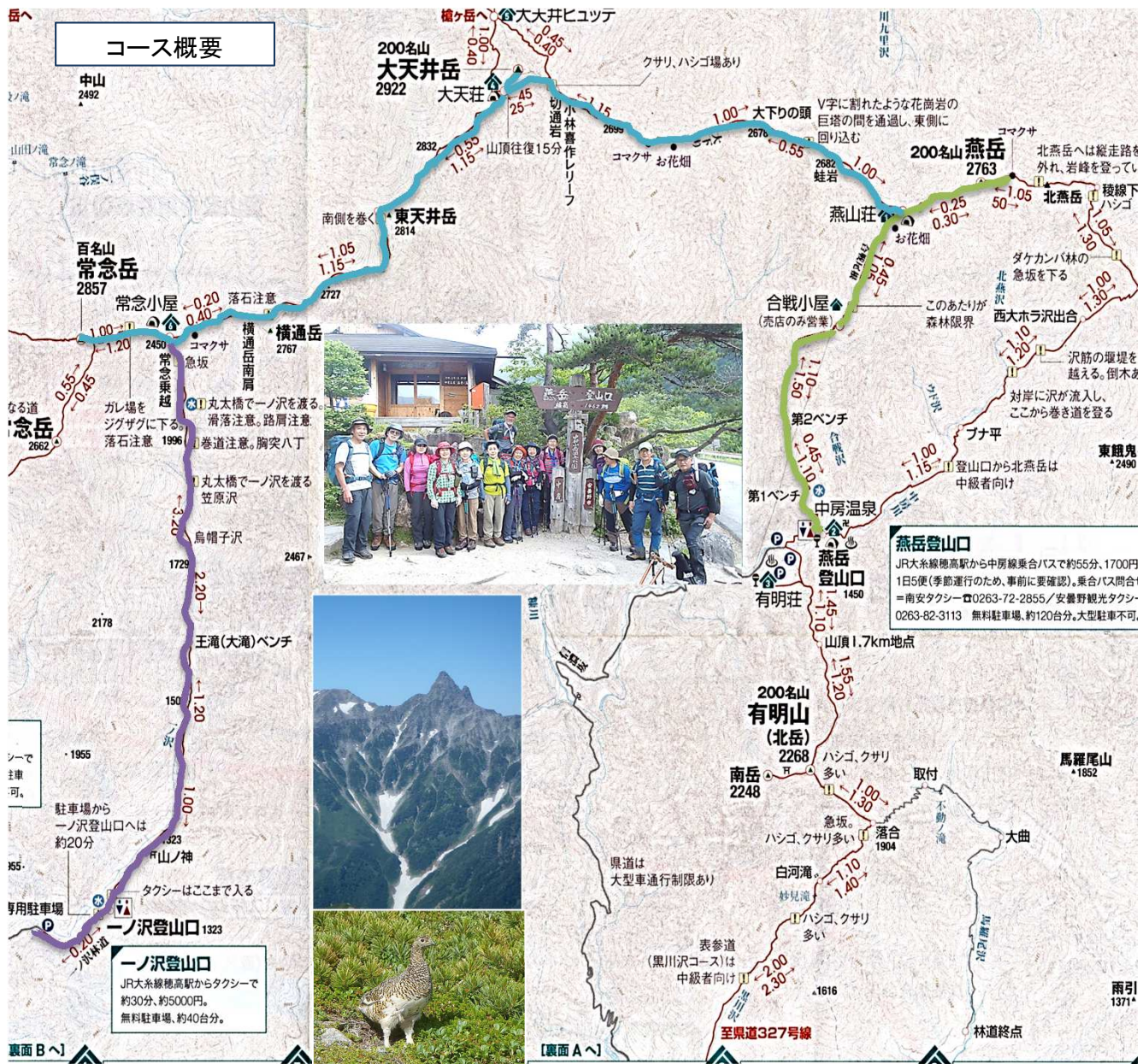


北アルプスの山旅 常念山脈縦走山行報告

真夏の炎熱岳人さん・・・燕岳から大天井岳・常念岳へ縦走する

目的の山域・山名	北アルプス南部の燕岳(2,763m)大天井岳(2,922m)常念岳(2,857m)
山行日	令和元年8月2日(金)～8日(木)
ルート(コース)	中房温泉から燕岳～大天井岳～常念岳へ縦走し一ノ沢登山口へ下山
山行形式	夏尾根道縦走、山小屋宿泊
メンバー	C班 リーダー藤木晴、クリヤマさん、マスカワさん 計3名
コースタイム	8月2日 21:15発 苦小牧港フェリー乗船
	8月3日 4:30八戸港着 下船 チャーターバス高速移動 16:30着 安曇野市中房温泉(宿泊)
	8月4日 7:30中房温泉出発 9:00第2ベンチ 11:30合戦小屋 13:30燕山荘 14:30燕岳 15:45燕山荘
	8月5日 4:15燕山荘 7:30切通岩(B班分岐) 8:30大天井岳 12:30常念小屋 14:45常念岳 16:15常念小屋
	8月6日 6:15 常念小屋 9:50一ノ沢登山口着 12:15 登山口P場でA班と合流 15:00上高地全員合流
	8月7日 8:00 上高地から八戸へ移動 20:30 八戸港着 22:00フェリー乗船
	8月8日 苦小牧西港 6:00 到着下船



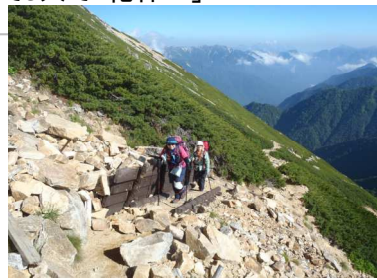
6泊7日の山旅では大変お世話になりました。ありがとうございました。

常念岳にてリーダーから突然に記録係の指名をうけて、時間的な事も何も考えずにただ黙々と登り下りに専念して、何を書いて良いやらで頭の中が真っ白でした。ただ、羊蹄山、トムラウシ山、旭岳の連続登山のおかげで筋肉痛も無く、初めての燕岳もとても快調に登れてとても良い山でした。

それでは令和元年8月5日～6日のC班の行動記録を記帳します。

8月5日 燕山荘3時半に起床。夜明前ヘッドランプを点けてB班槍ヶ岳グループと共に4時に出発。陽が昇り周りが明るくなりヘッドランプを消して稜線を歩く。明るくなった『大下りの頭』この辺で雲海に聳える槍ヶ岳を眺めながらの朝食は最高でした。さらに進んで『切通岩』分岐にてB班は大天井ヒュッテ経由で槍ヶ岳へ、C班は大天井から大天井岳を登り、さらに常念岳へと互いの山へと健闘を誓い合い向かいました。

私達C班は大天井岳は南側を巻いて横通岳は南肩を通して眼下に見える常念小屋を目指しました。猛暑・晴天、微風など熱中症に気遣って小まめに水分補給をしながら12時頃に常念小屋につきました。受付で『百周年常念坊』と書かれた記念の木札を頂く。アタックザックに弁当を詰めて頂上へとむかう。途中、雷鳥の親と子3羽に会う。頂上からの絶景に最高気分。下山後には小屋にて3人で「乾杯！」



8月6日 ご来光を拝み槍ヶ岳を掌に載せて写真を撮る。私は両手、栗さんは右手に載せて写しました。常念小屋を出て6時10分常念乗越から一ノ沢登山口へと下山。今度は沢沿いに親子猿が現れる。可愛いなア・・・一ノ沢登山口に着く。A班の乗ったマイクロバスを木陰で待つ事1時間半。無事にA班4人と合流し上高地へと向かいました。晴天に恵まれ辛かった事は忘れ良かった事、頑張った事だけが頭と心に残りました。達成感一杯。本当にありがとうございました。 記 増川

